

令和6年度「ぽぽら春日部」実施事業【4月～12月】 課題と今後の対応に対する意見等

No	事業名	市からの意見等	運営協議会からの意見等
1	利用者会議	参加者数を増やすために、どのような工夫をしたのか、参加者数増加により得られた効果等はあったのか、会議の中で、市民活動センターに対する要望や改善点などの意見が出ているのかを伺いたい。	・市の施策を具現化するための事業だと思うので、成果物やテーマが見える化されるべきと考える。 ・他の団体と繋がるきっかけになるのがこの会議だと思う。 ・広報宣伝活動の場と捉えるといいのではないかな。 ・協働を促す場となるよう、参加団体のメリットもつかみながら開催していければと思う。
2	利用者アンケート	アンケートは利用者の声を直接聴く機会であるので、毎回定型の質問だけでなく、センターの課題解決に資する設問を設けるなど工夫が必要と考える。	—
3	市民活動講座	「市民活動とは何か」を知るきっかけの一つとして、市民活動に係る講座の位置づけは非常に重要と考える。普段無意識に見聞きしている事柄等が、実は市民活動であると知ってもらえる機会となるような講座開催を期待します。	—
4	協働を促す企画	今後の協働相手として、自治会や企業等と連携する機会を増やしてするために、どのようなアプローチが必要と考えているのか、具体的な取り組み内容が今後の対応からは見えてこないように感じる。	—
5	市民団体交流会	2月実施予定	
6	周年記念イベント 「ぽぽらフェスティバル」	参加団体数が年々増加し、フェスティバル全体に盛り上がりを感じるが、参加団体や来場者の増加について、具体的にはどのような活動（取り組み）の成果として捉えているのか伺いたい。	—
7	月間イベント	交流ミーティングスペースを利用した展示については、アンケート等で見受けられる「市民活動に無関心」な層にも気軽に見てもらえる。更に多くの団体に月間イベントを周知し参加を募るとともに、「その団体が考える（行っている）市民活動」のような展示物も加えてもらえるとPRができるかもしれない。	—
8	情報発信	市民活動センターのHPは利用者が独自のHPを持たなくても情報発信ができるという利点があるので、操作方法に慣れない団体には講座を開催するなどもっと多くの団体に利用してもらえると良い。また、パソコンサークルなども団体登録があるので、協働相手として協力いただき団体同士の交流も図れると良い。	—
9	相談事業	相談内容等を講座に反映させたなどの事例（スマホ講座以外）はあるのか、相談が多いものについては講座化を検討してみてもいいのではないかな。	・相談の実践連取や対応などの研修を、年1回程度、研鑽の機会として設けてもいいかなと思う。
10	運営パートナー制度	利用者会議の議題にするなど、具体的に意見交換を行うことで、新たな受け入れ業務の創出や、新しく運営パートナーとなる人材の創出につながるのではないかな。	・パートナーのスキルアップがあるといいのではないかな。

No	事業名	市からの意見等	運営協議会からの意見等
11	モヤモヤカフェ	具体的な課題が見えてこない。ゲストの確保なのか、カフェ参加者数なのか、カフェのテーマなのか、日時・場所なのか、カフェ開催の目的からカフェ実施により得たい効果が、もっと見える化されると良いのではないかな。	—
12	フィールドリサーチ 団体訪問	課題となっている、計画的に訪問できない理由は何かを明確にし解消させないと、事業が停滞したままとなってしまう。また、実施後のアウトプットが何に反映されているのかが見えてこない。	・自治会での困り事を問題点として出すとコミュニティが生まれるのではないかな。
13	施設利用の活性化	施設の利用方法については、随時見直していく必要があるが、交流ミーティングスペースの多くが学生に占められている現状に対して、他市の事例や活用方法等を調査研究するなど、本来の目的に沿った活用となるような検討も必要と考える。貸事務所については、アンケート結果から知らない人も多く、周知方法については検討をお願いします。	—
14	施設PR	「謎解き？！POPOLA」では、参加者からぼぼらのことがよく分かったと感想をいただいているので、PRには繋がっていると思う。多岐にわたってPRするためには、新たな場所・方法の検討が必要と考える。	—
15	シンポジウム	3月16日：実施予定	
16	活動見本市	1月21日～3月30日：実施予定	